

令和2年度 第2回学校評議員会 会議録

1 会議の名称

令和2年度岩手県立釜石高等学校 第2回学校評議員会

2 会議の構成

(1) 学校評議員

佐々木 猛 (釜石中学校長)
武田 直美 (同窓会副会長)
万城目 千佳代 (前PTA会長) 【欠席】
新里 進 (株式会社浜千鳥代表取締役) 【欠席】
須藤 寛人 (定時制教育振興会評議員)

(2) 学校職員

鈴木 広樹 (校長)
三田 正巳 (全日制副校長)
松田 隆宏 (定時制副校長)
鈴木 勇悦 (事務長)
小澤 光悦 (総務主任)
伊東 浩二 (教務主任代理)
高橋 英明 (進路指導主事)
湊 博之 (生徒指導主事)
吉田 英男 (SSH推進室・理数科主任)

3 会議の開催

令和3年2月19日 (金) 15時00分～16時30分 [釜石高等学校 多目的教室]
評議員3名、学校職員9名

4 会議の次第

授業見学

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 全日制概況説明
- (4) 定時制概況説明
- (5) 意見交換
- (6) その他
- (7) 閉会

5 会議の概要

意見交換

- ・新型コロナウイルス感染症の感染予防として学校で取り組んでいることは何か。
→他地区に比べて感染者が少ないため生徒の意識が低くなりがちである。そのためマスクの着用、手指消毒の徹底については再三にわたって継続的に指導している。また、県からの対策予算で、マスク、パーテーション、消毒液の自動噴射装置、サーキュレーター、扇風機（換気用）を購入した。また、消毒担当の職員を1名採用して対応している。
- ・授業を見学したが、生徒たちが生き生きとしているのが強く印象に残った。コロナ禍の中、先生方は苦勞されたと思うが、このような充実した授業をしてこられたことに感謝したい。
- ・生徒の学校評価について、学年が上がるにつれて評価が上がっているが、これは例年のことなのか。また、その理由についてはどのように考えているか。
→例年同じような傾向が見られる。理由としては、3年生になると、推薦指導など個別指導の機会が増えるからではないかと思われる。
- ・校内のICT化に伴い、先生方は授業の資料作りが大変だろうと苦勞が忍ばれた。生徒たちの授業中の姿勢が良いのに感心した。
- ・新型コロナウイルスの蔓延で、なかなか普通の学校生活を送れない状況ではあるが、生徒たちが自分を見失うことなく進路を見つけていけるような指導を期待したい。
- ・各教室へのプロジェクタ設置やWi-f i 環境など施設の充実ぶりが素晴らしい。SSHについてはぜひ継続をお願いしたい。そして地域の独自性を釜石高校から発信してほしい。中学3年生の生徒たちには釜石高校の魅力を伝えたい。

以上